

○議長（河野） 2番、三好和幸君。

○2番（三好和） はい、議長。

○議長（河野） はい、三好君。

○2番（三好和） 2番、三好和幸です。

○2番（三好和） 通告に従い、一般質問を行います。

「高齢者等福祉タクシー助成事業について」お伺いします。

香川県下において交通事故の大半は高齢者が占めており、高齢者の事故防止の観点から運転免許自主返納者に自動車に代わる制度として、綾川町ではデマンドタクシー、町営バス、琴電運賃半額ゴールドイルカ事業がありますが、中でも、コロナ対策として始まったあんしんタクシー助成制度ですが、この制度はデマンドタクシーのような予約などなく、町営バスのようにバス停まで行かなくてもいい、乗車、降車場所いずれかが綾川町内であれば利用の目的は特に限定しない、また一人でも乗れるなど、町民には喜ばれる制度であります。

今年度から高齢者福祉タクシー助成事業となり、諸物価が高騰する中で、助成券も利用者一人につき一会計年度24枚となり、前あんしんタクシーの二倍となり、近隣の自治体並みの年間1万2千円となり大変喜ばれる制度です。その制度の中に、本人及び同一敷地内で居住するすべての者が自動車運転免許証を有しておらず、かつ5項目の条件に該当する者とがありました。

高齢者の方からは、この制度は縛りが多くて使えないなど不満の声が多く寄せられます。高齢者の方が困っていることは、運転免許証を自主返納したことにより、車に乗れない等、食料品の確保、病院に行くのにも支障が出ており深刻な課題となっております。

買い物支援策として移動スーパー「お使いサービス」など利用しますが、このままでは一人暮らしの高齢者しか使えないとの声を多く聞きます。

本年四月から始まったこの制度が一か月もたたないのに200件を超える申請があったそうです。ぜひ、「同一敷地内の全ての者が自動車免許証を有さない」の条件を見直していただきたく思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（河野） 前田町長。

○町長（前田） はい、議長。

○議長（河野） 町長。

○町長（前田） はい、議長。

○町長（前田） 三好議員のご質問にお答えをします。

本町におきましては、高齢者等の移動支援といたしまして、デマンドタクシー等の公共交通や買い物支援の移動スーパーなどを実施しているところであります。

「あんしんタクシー」については、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の感染対策の一環として、人と人が密になることを防ぐことを目的として、コロナが感染症法上5類になった昨年度まで実施をしてきたところであります。

その後の対応といたしましては、日常生活の買い物、通院とか役場への申請などの移動手段に困っている高齢者等の支援を目的に、「高齢者等福祉タクシー」を制度設計し、本年度から新たにタクシーチケットの助成事業として開始したものであります。

この制度は、免許証を有しない方で、75歳以上の方、障害の重い方などの条件に該当し、送迎する方が身近にいない方を対象としており、他の公共交通や買い物支援制度などと併用していただきたいと考えております。しかしながら、利用率等の状況や実施する上での問題点などにより、将来に向けて制度の再設計も必要であるとも考えております。

以上、ご質問の答弁といたします。

○議長（河野）再質問はございませんか。

○2番（三好和）はい。議長。

○議長（河野）三好君。

○2番（三好和）はい。議長。

○2番（三好和）助成事業申請者の中に、申請に来て、窓口で、それでは後でまた調べさせていただきます、ということになれば、その場で取り消して帰る方もおられるそうです。

ですから虚偽の申請をしてでもね、この助成券をありがたいというお話だと思うんです。やはり町民から喜ばれる制度だと思います。

同一敷地内には、お子さんやお孫さんと住んでおられる方もたくさんおられますが、若い方は、昼間はやっぱり働きに出ますし、生活のリズム、スタイルも異なります。

昼間はもうお年寄りだけになってしまいますから、また利用目的をこの制度は問いませんから、高齢者の中にお友達同士で、出かけたり、町外に買い物に行ったり、それは、1回ずつ、わずかなお金ですけども、助成してもらえてっていうことはすごく魅力だと思うんです。

ぜひ、前向きなご答弁を再度お願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（河野）土肥健康福祉課長。

○健康福祉課長（土肥）はい、議長。

○健康福祉課長（土肥）三好議員の再質問についてお答えいたします。

このあんしんタクシーは町長答弁にもありましたようにコロナ対策ということで、密にならない、一緒に出かけないっていうことが目的で、一応こういう事業をやってきたわけですが、コロナが終わったということで、もうこれを白紙に戻して、そこからの制度設計というところで行う、としたものでございます。

本当に困っている方として、考えておまして、今までこのコロナのあんしんタクシーで、4年間、いろんな使いやすさ、そういったもので、言い方は適切でないかもわかりませんが、これにも慣れてきたというところはあると思います。

ただここに来てコロナは収束いいですか、まだ感染の予兆はありますが密とかその

辺はもう言われてないというところで、今後、こういったタクシーの事業、これについては、とりあえず制度として発足したものでございまして、同一世帯の中で、日程を合わせるとか、買い物の日時を土日に見るとかそういった、一応工夫をしていただきながら進めていただきたいというふうに思っております。

先ほど町長が申しましたように、今後ですね、そういったご意見、皆さんのそういう状況等を把握しながら、まだ再度設計をし直すというところも考えておりますので、ご理解いただけたらと思います。よろしく申し上げます。

- 議長（河野） 再々質問はございませんか。
- 2番（三好和） はい、ありません。
- 議長（河野） 以上で、三好君の一般質問を終わります。